



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 共栄タンカー株式会社

コード番号 9130 URL <http://www.kyoeitanker.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 林田 一男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 中嶋 靖

TEL 03-4477-7171

四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	3,502	17.8	614	45.8	329	61.4	584	731.7
26年3月期第1四半期	2,972	5.5	421	34.9	204	24.1	70	△75.9

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 644百万円 (15.2%) 26年3月期第1四半期 559百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	15.30	—
26年3月期第1四半期	1.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	60,763	8,409	13.8	219.89
26年3月期	59,669	7,879	13.2	206.05

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 8,409百万円 26年3月期 7,879百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	3.00	3.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期の配当予想額につきましては、現時点では未定です。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,500	5.8	1,000	11.2	450	28.2	650	449.6	17.00
通期	12,450	△2.0	1,600	3.9	550	△19.9	750	67.5	19.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 連結業績予想の修正については、本日(平成26年8月8日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	38,250,000 株	26年3月期	38,250,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	8,207 株	26年3月期	8,207 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	38,241,793 株	26年3月期1Q	38,241,996 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が見られたものの、政府の経済政策や日銀の金融緩和策を背景に緩やかな回復基調が続きました。海外経済は、米国経済の回復基調が続いたものの、本格的な回復に至らない欧州経済や新興国における景気減速懸念など依然として先行き不透明な状況で推移しました。

海運市況は、大型原油船(VLCC)につきましては、各国石油会社の定期修理や船腹需給の緩みなどから4月の年度初めからWS30台で低迷していましたが、6月下旬になると定期修理が終わり、中国を中心に原油輸入を増やしたことなどから、市況はWS50台まで上昇しました。石油製品やばら積船におきましては、新造船供給圧力により期を通して市況は低迷しました。

こうした経営環境の中、当社グループは大型タンカーを中心とする長期貸船契約を主体に安定した経営を目指し、当第1四半期においては、平成27年度第4四半期竣工予定のばら積船の取得契約を締結するなど営業基盤の強化を進め、本格回復が見られない海運市況が続く中、各船の運航効率の向上と諸経費の節減など収益改善に努めました。また、高齢のVLCCを売船したことにより、当第1四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

海運業収益は35億2百万円(前年同期比5億3千万円増)となり、営業利益は6億1千4百万円(前年同期比1億9千3百万円増)、経常利益は3億2千9百万円(前年同期比1億2千5百万円増)となりました。また、前述のVLCC売船などによる特別利益9億8千3百万円の計上により四半期純利益は5億8千4百万円(前年同期比5億1千4百万円増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べ10億9千3百万円増加し607億6千3百万円となりました。流動資産は、固定資産売却による預金の増加などにより4億7千万円増加し35億2千6百万円となりました。

固定資産は、新造船の建造により建設仮勘定が増加した一方で、減価償却の進捗に伴う船舶の減少により6億2千2百万円増加し572億3千7百万円となりました。

負債の部は、設備資金の借入などにより5億6千4百万円増加し523億5千4百万円となりました。

純資産の部は、利益剰余金が増加したことにより前連結会計年度末に比べて5億2千9百万円増加し84億9百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の実績を踏まえ第2四半期連結累計期間および通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(平成26年8月8日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,484,095	2,644,761
海運業未収金	439,818	36,328
立替金	116,451	43,156
貯蔵品	625,188	370,921
繰延及び前払費用	50,644	46,063
その他流動資産	340,684	386,612
貸倒引当金	△1,525	△1,500
流動資産合計	3,055,357	3,526,343
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	53,608,138	51,893,076
建物(純額)	27,110	26,371
土地	47,971	47,971
建設仮勘定	1,488,025	3,749,305
その他有形固定資産(純額)	12,351	12,339
有形固定資産合計	55,183,596	55,729,065
無形固定資産	23,146	22,884
投資その他の資産		
投資有価証券	1,181,920	1,260,907
その他長期資産	226,243	224,987
貸倒引当金	△730	△730
投資その他の資産合計	1,407,433	1,485,165
固定資産合計	56,614,176	57,237,115
資産合計	59,669,533	60,763,458

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
海運業未払金	537,647	239,139
短期借入金	5,975,912	5,775,912
未払費用	74,203	68,596
未払法人税等	341,364	121,691
繰延税金負債	38,658	421,944
賞与引当金	41,681	10,135
その他流動負債	476,119	488,060
流動負債合計	7,485,586	7,125,480
固定負債		
長期借入金	41,538,116	42,174,138
繰延税金負債	345,011	605,582
特別修繕引当金	999,505	993,396
退職給付に係る負債	274,784	231,227
その他固定負債	1,146,846	1,224,521
固定負債合計	44,304,265	45,228,866
負債合計	51,789,852	52,354,347
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,850,000	2,850,000
資本剰余金	518,694	518,694
利益剰余金	5,043,126	5,513,376
自己株式	△2,367	△2,367
株主資本合計	8,409,453	8,879,703
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	179,591	230,496
繰延ヘッジ損益	△709,363	△701,089
その他の包括利益累計額合計	△529,771	△470,592
純資産合計	7,879,681	8,409,110
負債純資産合計	59,669,533	60,763,458

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
海運業収益	2,972,750	3,502,962
海運業費用	2,395,338	2,718,683
海運業利益	577,412	784,279
一般管理費	156,392	170,258
営業利益	421,019	614,021
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,551	8,545
デリバティブ評価益	37,085	2,024
退職給付に係る負債戻入額	—	7,865
その他営業外収益	7,546	3,539
営業外収益合計	49,183	21,975
営業外費用		
支払利息	264,385	283,322
その他営業外費用	1,560	23,077
営業外費用合計	265,946	306,400
経常利益	204,257	329,595
特別利益		
船舶売却益	—	897,508
特別修繕引当金取崩額	—	86,332
特別利益合計	—	983,840
税金等調整前四半期純利益	204,257	1,313,435
法人税等	133,926	728,460
少数株主損益調整前四半期純利益	70,331	584,975
四半期純利益	70,331	584,975

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	70,331	584,975
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,725	50,905
繰延ヘッジ損益	481,330	8,274
その他の包括利益合計	489,056	59,179
四半期包括利益	559,387	644,154
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	559,387	644,154

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。